

ひがしおわりの窓

平成22年1月発行 第2号

基本理念

患者さんの立場に立ち、基本的人権を守り、より安全な医療を提供します。

年頭所感



院長
舟橋 龍秀

明けましておめでとうございます。みなさまには、どのような新年をお迎えになったでしょうか。私は、なにくれとなく気ぜわしい師走の数日間が過ぎ、元旦の朝、いつもの休日より少し早めに目を覚まし、玄関に新聞を取りに行く時がとても好きです。それは、周囲の景色は昨日と何も変わっていないのに、辺りの空気が凛としていて、「新しい一年が始まるのだな」という気持ちになるからです。

さて、国立病院機構の一員である当院は、これまでも、医療観察法に基づく医療や重症精神障害の治療といった国立精神医療施設として果たすべき医療と同時に東尾張地区の精神科急性期治療の基幹施設として精神科クリニックや総合病院精神科との連携につとめてまいりました。

ところで、去年は政権交代という大きな出来事がありました。それに伴い、独立行政法人に対してこれまで以上に厳しい目が向けられるようになりました。そうしたことを踏まえ、今年は、コンプライアンスの一層の向上に努めつつこれまでの機能をさらに高めていくことと同時に、身体合併症、新しい治療薬物の導入あるいは思春期青年期の精神障害の治療に積極的な取り組んでいこうと考えています。そのために、築後40年を経過した開放病棟の更新築を計画しております。ただ、それを実現するためには、赤字体質から脱却し経営を安定化させることが必要です。これは当院にとって容易なことではありませんが、よりよい医療をみなさまに提供できるためにはどうしても果たさなければならない課題と思ひ微力を尽くす所存でございます。

、今年は寅年です。故事に、「虎穴に入らずんば虎児を得ず」とあります。それに因み、大きな成果を得られるようこれまでにない試みをも積極的にしなければならぬと考えております。みなさまのご理解とご支援を切にお願いいたします。

第1病棟（急性期閉鎖病棟）の紹介



当病棟は、平成13年に新築されました。2階建ての1階のフロアが1病棟です。広くて、きれいで、光が入る、明るい療養環境になっています。

平成21年は、精神科の救急や応急入院などを含めて、年間310名の患者さんを受け入れました。クリニカルパスを導入し、3ヶ月以内（急性期・回復期・退院準備期）の退院を目指し、回復期には、『SST（社会生活技能訓練）』（毎週木曜日）、『心理教育』（毎週金曜日）、『作業療法』等のリハビリテーションを行っており、並行して、統合失調症で入院した患者さんのご家族と、病気のことや生活上の工夫などを相談する場である『家族教室』（第3木曜日）を行っています。そして、多くの職種・部門（医師・看護師・精神保健福祉士・薬剤師・栄養士・作業療法士・訪問看護・デイケア等）と連携を図りながら、持てる力を最大限に発揮し、治療・看護を行っています。

心の病は現代病と称されることもあり、珍しいことではありません。そのような方々に対し、心のケアを通じて集中的かつ安全な入院生活のサポートを行い、長期の社会・在宅生活に向けての後押しをさせていただくことが、当病棟の使命であると考えています。

地域医療連携室の紹介

私たち、地域医療連携室のメンバーは、精神保健福祉士という資格を持った者です。ただし、当院においては、医療社会事業専門員という長い役職名があります。しかし、患者様とご家族へ自己紹介をさせていただく際は、「ソーシャルワーカー」もしくは「ケースワーカー」と名乗っています。現在、地域医療連携室には精神保健福祉士が、男性3名、女性が4名在籍しております。地域医療連携室で外来患者様やご家族様への対応をさせていただいたり、病棟で入院患者様やご家族様と入院中の諸手続きや社会資源の紹介をさせていただいております。また、多職種・他機関とのカンファレンスに参加したり、それぞれの患者様がよりよい生活をおくることができるように心がけています。

障害者手帳・年金・健康保険などの制度に関する相談や紹介・各窓口の紹介、医療費や生活費の相談、住宅の確保や維持などの相談、退院後の生活の相談、施設・作業所・デイケアなどの相談、家族との関係や日常生活に関する相談、復職・就職・療養中の就労保障などの相談をお受けしています。

私たちが患者様やご家族にできることは、直接的な医療ではなく、医療を安心して受けていただける環境を整えたり、また、地域での生活をより豊かに過ごしていただくためのお手伝いです。気軽に声を掛けてください。



デイケア紹介(その2)

社会復帰の前段階としてのデイケアでは、さまざまなプログラムを用意しています。その理由は、第一に、人によって『元気になる活動』が違うからです。庭仕事をすると元気になる方もあれば、歌を歌うと元気になる方もあります。デイケアでは、できるだけ多種類のプログラムを用意し、患者様に自分自身の中の可能性を見つけていただきたいと思います。第二に、色々な活動の特徴を利用して患者様の抱える困りごとを解決するためです。まだまだ体力がないという方は少しずつ体を動か

していけるように、また人との交流に自信のないとお悩みの方は、少人数のプログラムから参加して少しずつ人付き合いができるように慣れていくこともできます。一人暮らしで家事に困っている方には、一緒に家事を学べるような場面もあります。このように患者様の困りごとに幅広く対応できるように設定し、社会参加のためにサポートしています。ご自身の目標をスタッフと相談しながら、当院のデイケアを利用させていただきたいと思います。

陶芸作品:
ものづくりを通して、
完成の喜びを感じて
いただけます。
また集中力の練習に
もなります。



焼きそうめん:
残ったそうめんを
いかにおいしく
食べるか皆で考え
ました。



東尾張病院マスコットキャラクターの紹介

僕たち兄弟は名古屋市守山区に住んでいる兄：マメタロー(5歳) 弟：ナシジロウ(3歳)です。兄弟の名前は東尾張病院の敷地内に自生する大きな豆梨の木から、東尾張病院のシンボルとして名付けてもらいました。豆梨は、春には桜の花びらに似た白い花をつけ、0.7~1.4cmの「長十郎」そっくりの実を付けます。今では東名高速道路工事や都市開発の波をもろに受け、絶滅危惧種となってしまいましたが、どんな環境にもめげないで東尾張病院の仲間として頑張りまっしょい。

僕たちのお披露目と名付け親の紹介のため先月パーティをしてもらいました。いつまでもかわいがってくださる。

(Byマメタロー、ナシジロウ)



調理技術コンクールの受賞について

平成21年11月11日に社団法人岐阜県調理師連合会主催で開催された第26回調理技術コンクールにおいて、当院の主任調理師の西尾重範さんが日本料理部門で岐阜県議会議長賞を受賞されました。西尾さんの受賞を心から御祝い申し上げますとともに、当院において今後ますます御活躍されることを期待いたします。



	月	火	水	木	金
第1診察室	桑原	木村	吉岡	酒井	菅原
第2診察室 (初診)	加藤 第1・3・5週	桑原	鷲野	鳥居 第1・3・5週	酒井
	菅原 第2・4週			長崎 第2・4週	
第3診察室	舟橋	青木	舟橋	加藤	長崎
第4診察室	八木	鳥居	青木	八木	木村
第5診察室	長崎	菅原	加藤	吉岡	鳥居
第6診察室	(予診)	鷲野	藤倉	(予診)	(予診)

(注1) 受付時間は、8:30～11:30です。(注2) 再診の場合は、予約診療も行っております。
 (注3) 家族相談、訪問看護、セカンドオピニオンも行っております。詳細につきましてはお問い合わせ下さい。

病院へのアクセス



名古屋方面から
電車・バスで

- 地下鉄東山線藤が丘駅下車、市バス藤丘12系統 東谷山フルーツパーク行き乗車、東尾張病院南下車徒歩約5分
- JR中央線・地下鉄名城線大曾根駅下車
 - ① ゆとりーとライン志段味スポーツランド經由中志段味行き乗車、東尾張病院下車
 - ② 名鉄瀬戸線で印場駅下車徒歩約20分、又は旭前駅下車後タクシーで約8分

名古屋方面から
乗用車で

- 瀬戸街道(県道61号線)印場西交差点を北上、4つ目の信号「労災病院西」を左折してすぐ左手

春日井方面から
乗用車で

- 竜泉寺街道(県道15号線)吉根東交差点(ジャスコ)を南下し、二つ目の信号を過ぎて約500m行った右側

病院バスのご案内

病院バス時刻表		
月曜日～金曜日(土日・祝祭日は運休)		
	午前	午後
病院発	9:00	15:10
バス停① (名鉄瀬戸線旭前駅東側タバコ屋前)	9:05	15:15
バス停② (地下鉄藤が丘駅西側パチンコ店前)	9:15	15:25
病院着	9:30	15:40

(注) このバスは、通院される患者さんのために運行されているものです。交通事情により多少遅れることがありますので、御了承下さい。